



川俣小学校「学校だより」  
**輝くひとみ**  
 令和3年9月3日(金) 第21号

教育目標  
 ☆すすんで学ぶ子ども  
 ☆思いやりのある子ども  
 ☆ねばり強い子ども  
 ☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



## アウツプット型授業



先日、授業を見て回っていると、1年1組2組ともに算数科の授業で、どちらの学級も、子どもが黒板を使って自分の考え方をみんなに話している場面でした。1年生なりに自分の考えが伝わるように一生懸命説明していました。聞いている子どもたち



も、級友の考えや気持ちをくみ取ろう、理解しようと真剣に聞いていました。本校では、このように自分の考えや意見、気づきや読み取ったことなどを級友と伝え合ったり、みんなに向けて発信したりするアウツプット型の授業で確かな学力の向上を図ろうとしています。分かっているようでも、説明しようとする「あれ？なんで？」と曖昧になることがあります。アウツプットするためには、**本当の意味での理解（知の再構成）**が必要になります。今年度の全国学力・学習状況調査の結果でも、福島県は国語科で、重要語句を盛り込みながら指定の字数で「要約する」問題が、算数科では、グラフからデータを比較し特徴等を「記述する」問題などが正答率の低い傾向となりました。自分の考えや読み取ったことなどを「**自分の言葉で表現できる・伝えられる（テストでは記述する）**」力は、今後ますます大事になってくる力であると感じます。

## 読み聞かせ・読書学習プラン



川俣町の教育「シルクプラン」には、3つの学習プランがあります。その1つに、読書・学習習慣の醸成や集中力・創造力の育成をねらう「読み聞かせ・読書学習プラン」があります。今週は4年生とのぞみ・ゆめはな学級の子たちが「お話ポケット」



の方からすてきな読み聞かせをしていただきました。逆さま絵の仕掛けのある絵本を紹介してもらったり、思わず声が出てしまう紙芝居をしていただいたりしました。**読書の楽しさ、続きが読めるわくわく感**を将来味わうことができればなおさらすてきなことです。9月に入りだいぶ涼しくなりました。読書にはうってつけの季節がやってきます。

## 「自分の限界は、自分が決める」



上の言葉は、東京パラリンピック走り幅跳び優勝者マルクス・レーム氏の言葉、8m62cmのベスト記録をもつ義足のジャンパー。一昨日、雨模様でなければ東京五輪の金メダル記録8m41cmをも超えた可能性も。まさに、限界は自分が決める！記録・生き方を感じます。他の競技を見ていても、**感動と共に前向きに生きる意味**等いろいろなことを考えさせられます。5・6年生も現在、陸上練習がんばっています。